

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.78)

## 1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業に努めてPCB廃棄物処理を継続しており、9月の処理実績は下表のとおりです。

今回は、コンデンサの素子を裁断し、真空加熱分離によりPCBを取り除いた紙、アルミ箔を梱包機で梱包しているところと搬出トレイに収納された紙・アルミ箔を搬出するところの写真を掲載しました。

今後も安全第一にPCB廃棄物の処理を進めてまいります。

平成22年9月の操業実績

種 別		受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類		496 台	559 台
トランス類	大 型	5 台	5 台
	小 型	19 台	19 台
	車 載 型	4 台	4 台
廃PCB等		8 個	4 個
保管容器		2 個	2 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



梱包機で紙、アルミを梱包

紙、アルミ



紙、アルミの搬出

## 2. PCB廃棄物の10月の受入計画について

平成22年10月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		275 台
トランス類	大 型	4 台
	小 型	17 台
	車 載 型	2 台
廃PCB等		8 個
保管容器		2 個

10月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、豊田市内の事業者から12台、愛知県内から132台、岐阜県内から31台、三重県内から100台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から20台、静岡県内から1台、車載型トランスは静岡県内から2台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から8個、保管容器は、豊田市内から2個を受け入れる予定です。

## 3. 施設見学について

今年度も見学コースには行政、保管事業者、海外の研修者等多くの方々にお越しいただき、PCB廃棄物の処理について理解を深めていただいております。

平成22年度上期(4月~9月)の見学者の実績は、合計33団体、152名でした。

施設見学の申込は随時受け付けております。見学を希望される方は下記ホームページをご参照の上、事前に豊田事業所総務課(0565-25-3110)までお問い合わせください。



見学の様子

【施設見学に関するホームページ・アドレス】

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/facility/tour.html>

## 4. 総合防災訓練の実施について

9月7日、豊田施設において22年度1回目の総合防災訓練を行いました。

施設6階遠心分離エリアで火災が発生したという想定のもとで、①現場指揮訓練、②初期消火訓練、③避難・誘導訓練、④緊急通報訓練⑤救護救出訓練等を行いました。

今回は初期消火訓練は勿論のこと、豊田南消防署及び同西分署との合同訓練で、南消防署現場指揮隊とJESCO防災対策本部との連携による現場指揮訓練、また初期消火中に発生した怪我人を南消防署はしご隊が「消防隊進入口」から突入して怪我人を救出する訓練も行いました。

また、この豊田処理施設の訓練に合わせて、JESCO本社においても、緊急時受信・連絡の対応訓練を行いました。

火災を起こさないことは当然であります。万が一の場合にも素早く行動が取れるよう、これからも訓練を積み重ねてまいります。



総合防災訓練の様子

## 5. 安全への取り組みについて

### (1) 普通救命講習(心肺蘇生法とAEDの使用)の実施

9月9日及び10日に、豊田市消防署から3名の講師を招いて、普通救命講習を実施しました。

今回の講習では、「心肺蘇生法」と「AEDの使用法」を重点に、救命のリレーの大切さを学びました。「心肺蘇生法」は、胸を強く圧迫したり、息を吹き込むことによって、止まってしまった心臓や呼吸の動きを蘇らせる方法です。また、「AED(自動体外式除細動器)」は、正常に動いていない心臓(心室細動)に、電気ショックを与え、心臓の動きを取り戻すための機器です。

講習内容は、①心肺蘇生法(傷病者の反応確認、119番通報、人工呼吸、心臓マッサージ等)の模擬訓練と実技テストによる成果確認、②心肺蘇生法を行いながらAEDを使用する訓練等です。

社員が施設内外で起こりうる緊急時に対応できるよう、これからも定期的に訓練を行ってまいります。

### (2) 産業医による健康講話の実施

豊田施設では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を実施しています。9月28日は「PCB取扱業務の健康管理」というテーマで行いました。

- ①PCBの特徴、用途について
- ②健康に及ぼす影響について
- ③わが国におけるPCBに対する健康管理の状況について
- ④仕事上や生活上で気をつけることについて などを学びました。

特に、PCBは脂肪に溶けやすい特性があるため、日常生活において食生活に気をつける、適度な運動をするなどの自己管理をして中性脂肪を増やさない、さらに減らす事に心がけ、定期的な健康診断でそれらを管理することが大切であるとの話がありました。今後も施設内外において健康管理に努めてまいります。



救命処置訓練の様子



健康講話の様子

## 連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>